

核兵器禁止・廃絶条約の交渉開始と締結を



岡山県原水協通信

2017年 3月28日 No.397
 原水爆禁止岡山県協議会
 700-0981 岡山市北区西島田町 4-25
 TEL086-244-4526(F)805-6172
 kenmin@po5.oninet.ne.jp

国連会議始まる
 国連会議始まる

核兵器禁止条約の実現を



県原水協は国連で核兵器禁止条約交渉会議が始まった3月27日岡山駅西口で「3・27県行動」を行いました。行動には県労会議、自治労連、新婦人、民医連、人権連、平和委、共産党など12団体から27人が参加しました。県原水協中尾代表は「今日から始まった核兵器禁止条約交渉会議は歴史的な意義を持ちます。核兵器に『悪の烙印』を与え、核兵器国の使用の手を縛るものとなります。条約実現のために署名を」と訴えました。1時間の行動で47筆の署名が寄せられました。



写真/上・行動終了後被爆者を中心に記念撮影。左・「ピース・ナイン」の皆さん。下・署名行動のようす。



毎週金曜日倉敷駅前で行っている「原発なくせ金曜アクション」の3人のメンバーがギターを持って参加、核兵器廃絶を歌で訴えました。

県・市被爆者会会長が激励に 2・3世の会も訴え



この日の行動には県被爆者会土屋圭示会長、岡山市被爆者会平末豊会長（県副会長）と岡山「被爆2世・3世の会」志賀雅子事務局長も激励に駆けつけてくださいました。土屋県会長は14歳で体験された被爆直後の救護活動の中で見た悲惨な体験や「黒い雨をシャワー代わりに浴びた」ことを訴え、核兵器の廃絶を強調されました。（写真、左から平末、志賀、土屋さんです）